

解 答

一 問一 五年生

問二 a ア b ウ c イ d エ

問三 オ

問四 入院しているお母さんの病気が早く治るようにという願いを書いた短冊をつるした笹を川に流したが、朱根に土手の外に捨てられてしまったこと。

問五 ア

問六 保の、母の病気が治ってほしいという願いがこめられていたとは知らず、笹を捨ててしまい、申しわけないことをしたと思っている。しかし、自分としては、大切な川を汚さないために正しいことをしたのでゆずるわけにもいかず、とまどっている。

問七 両親とはなれているのはつらいが、自分の我慢などエベレスト登山隊に比べれば大したことはないのだから、打ち勝ってのりこえていこうという思い。

問八 エ

問九 イ

問十 ウ

二 問一 多

問二 ウ

問三 エ

問四 俗人

問五 イ

問六 何百年も先までこの世に存在する面に悔いを残さないようにと考え、今の時間や今の金のことは考えず、最善をつくすことにつながる。

問七 筆者の仕事は目先の金や時間にしばられているものだが、丸尾さんの仕事は金や時間にしばられてするものではなく、何百年も先まで良いものを残そうとする、充足感に満ちたものであると考えている。

問八 ま、負け惜しみですか

三 ① 責務 ② 断固 ③ 朗〔らかな〕 ④ 帯〔びた〕
⑤ 従来 ⑥ 慣〔れた〕 ⑦ 引率